

～生物多様性の維持と地域の活性化を実現し、 青い地球を残すための広島セミナー～

平成28年

10月19日(水)

13:00～16:30

(12:30 開場)

現在、地球上には推定870万種の生き物があり、これらの生き物は、森や川、草原、湿地、海などの様々な環境で互いにバランスを保ちながら生きています。

また、私たちの暮らしは、食糧や水、気候の安定など多様な生物が関わり合う生態系からの恵みにより支えられています。

この生き物たちの豊かな個性とつながり『生物多様性』が今、人間活動、外来種、地球温暖化等により危機に晒され、多くの生き物が絶滅の淵に立たされています。

現在を生きる我々が出来る身近な活動を通して、豊かな国土、青い地球を次なる100年に残すためのセミナーを開催します。

場 所： 広島YMCA国際文化センター 2号館
地階 コンベンションホール（広島市中区八丁堀7-11）

定 員： 70名 参加費： 無料

●開会挨拶

環境省中国四国地方環境事務所 課長 原田 幸也 氏

第1部：基調講演

講 演① 「広島県の水生昆虫 -失われつつある多様性-

講 師： 坂本 充 氏(広島市森林公園こんちゅう館 主任技師)

講 演② 「南限域に生息するカワシンジュガイの保全と地域の保護活動」

講 師： 内藤 順一 氏(認定NPO法人西中国山地自然史研究会 副理事長)

第2部：事例紹介

●「広島県の生物多様性に対する取組み」

神川 勇人 氏(広島県環境県民局自然環境課 課長)

●「特別天然記念物オオサンショウウオの保全活動 -地域・大学・自治体の協働-

清水 則雄 氏(広島大学総合博物館 助教)

●「広島県内の生物多様性に関する環境学習 -それはなにもないからはじまった-

奥山 秀輝 氏(広島県生物多様性普及ネットワーク 会長、環境カウンセラー)

●「EPOちゅうごくの取組紹介」

西村 浩美(EPOちゅうごく コーディネーター)

○質疑応答・連絡事項等

参加のお申込みについては裏面をご覧ください

主 催 環境省中国環境パートナーシップオフィス(EPOちゅうごく)

〒730-0011 広島市中区基町11-10 合人社広島紙屋町ビル5階 電話:082-511-0720 E-mail:info@epo-cg.jp

共 催 (広島県)、認定NPO法人西中国山地自然史研究会

後 援 (広島市、廿日市市、広島商工会議所、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、読売新聞広島総局、中国新聞社)



👁️ 講師紹介



坂本 充(さかもと みつる)

55歳、東京都出身。
愛媛大学農学部修士課程修了。
専門はキバチ類の分類。
1989年に広島市森林公園昆虫館に勤務し、広島県の昆虫相の解明と、希少昆虫に関する調査・保護活動に取り組む。
現在、ミヤジマトンボ保護管理連絡協議会及びヒョウモンモドキ保全地域協議会の会長。



内藤 順一(ないとう じゅんいち)

65歳、広島県呉市生まれ。
広島県内の高校教諭をする傍ら、各地の河川の生態調査を行う。
現在、国土交通省河川水辺の国勢調査アドバイザー、環境省希少野生動植物種保存推進員、広島県野生生物保護推進員、広島県生物多様性広島戦略推進会議委員などを兼任し、中国地方の自然生態系の観察、保護の業務を努める。主な著書に「広島県の淡水魚」「広島県の両生・爬虫類」「太田川水族館」などがある。

👁️ お申込み・お問い合わせ先

環境省 中国環境パートナーシップオフィス(EPOちゅうごく)

〒730-0011 広島市中区基町11-10 合人社広島紙屋町ビル5階

電話：082-511-0720

FAX：082-511-0723

電子メール：info@epo-cg.jp

下記参加申込書に必要事項明記の上、電話、FAX、電子メール等でお申込みください。

～生物多様性の維持と地域の活性化を実現し、青い地球を残すための広島セミナー～ 参加申込書

ふりがな		所属	
氏名			
連絡先	電話 ()	FAX ()	
	メールアドレス @		
年代	10代 ・20代 ・30代 ・40代 ・50代 ・60代 ・70代以上		
住所	県 市・郡		
参加動機 (可能ならお答えください)			

※ご記入頂いた個人情報については、本会議に関する連絡及び集計に限って使用し、ご本人の許可なく第三者に提供・公開することはありません。